

(1) 鞆田神社 (ともだじんじゃ)

神社名：鞆田神社 (ともだじんじゃ)

住 所：三重県伊賀市中友田 9 6 2

TEL:0595-43-1727

主祭神：天照大御神 (大日靈貴命)

祭神：猿田彦命、多岐都比賣命、火須勢理命、應神天皇、大物主神、火産靈神、大山祇命、健速須佐之男神、彦屋主田心命、天忍穗根命、天穗日命、活津日子根命、熊野久須毘命、天津日子根命、市杵嶋比賣命、武甕槌命、天活玉神、菅原道 眞、安閑天皇、速玉之男命、宇迦能御魂命、大彦命、綾川刀女命、大田命



拝 殿



梵 鐘



手水舎の石造湯槽

由緒：本社の創立は天平年度と言はれており、往古より現在地に鎮座ましまして、椿朝日大明神と称して、大名諸侯の尊崇篤く、代々藩主が参詣された。又、国守藤堂公が伊賀上のに城を築くに及び、当社は恰も鬼門に当たるため、特に崇敬一層深く、石鳥居、鉄鑄額及び儀槍二柄を寄進せられる。昭和五十四年十一月二十二日、浩宮徳仁親王殿下御参拝される。

小振りの石造りの神明鳥居をくぐり、水路に架かった小さな橋を渡って、約10段ある真新しい石段を登ると両側にスギの大木がそびえている。楼門をくぐり、さらに階段を登ると割拝殿そして神明造の本殿へと続く。社殿の背後には豊かな鎮守の森があり、スギ、ヒノキ、アカガシ、クスノキ、イチヨウ、アラカシなどの大木やサカキ、ヒサカキ、カナメモチ、ヤマウルシ、マンリョウ、タカノツメ、アラカシ、カヤ、アオツヅラフジ、イソノキ、アセビ、ヒバ、イヌマキ、サルスベリなどがみられる。楼門をくぐったすぐ左手には手水舎があり、手洗鉢には石造湯槽が使われている。石造湯槽は全国で六十数基見つかっており、三重県下では三基が確認されている。また、神楽殿と神興庫があり、境内からは約1km前方に雨乞山を見ることができる。例祭は4月1日、春祭2月15日、秋祭11月28日、夏祭7月15日で、境内社として宇迦能御魂命を祀った稲荷神社がある。

また、阿山町指定文化財として四代目藩主藤堂高睦が厄除けとして寄贈した「朝日椿大明神」の神号が記された鑄鉄製扁額と儀式用の2本の儀槍が保管されている。境内左手には宝暦6年4月に地元三郷の祖先を祭祀し住民の安泰を祈願した梵鐘がある。現在の梵鐘は昭和47年2月に建造されたもので、「世界平和、五穀豊穰、住民福祉、交通安全、健康精励、子孫繁栄、煩惱解脱、七難消滅」と刻まれている。